

2017年2月1日
株式会社パスコ

(おしらせ)

空間情報事業者として唯一 発起人として参加 気象庁「気象ビジネス推進コンソーシアム」を発足

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：古川顕一）は気象庁が支援する「気象ビジネス推進コンソーシアム」に発起人として参加いたします。本コンソーシアムは国土交通省生産性革命プロジェクトの一環で、多様な産業界における気象データの利活用を一層推進するとともに、IoT・AI 技術を駆使し、気象データを高度利用した産業活動の創出・活性化に向け、設立されるものです。

本コンソーシアムでは、「気象ビジネスの啓発・普及」「気象ビジネスを支える人材の育成」「気象ビジネス推進のための調査・実証」など、気象ビジネス市場発展の基盤づくりや、気象ビジネスの発展に向けた戦略の構築などに取り組まれる予定です。

パスコは、2014年8月にサービスを開始した災害リスク情報サービス「DR-Info（ディーアール・インフォ）」において、6時間先までのリスク情報の基礎データとして気象予測情報を活用しているほか、物流（輸配送）を支援する動態管理サービス「PASCO Location Service（PLS）」においても活用しています。なお、「DR-Info」は総務省が後援する「第10回 ASPIC クラウド・IoT アワード 2016」において、優秀かつ社会に有益なクラウド・IoT サービスとして「ASP・SaaS 部門 基幹業務系分野グランプリ」を受賞しています。※1

※1：2016年10月28日「ASP・SaaS 部門 基幹業務系分野グランプリを受賞」

こうした気象データを活用したビジネスを背景に、パスコは空間情報事業者として唯一、本コンソーシアムの発起人として参加することになりました。

パスコは本コンソーシアムにおいて、空間情報における気象データ活用の実績を基に、気象ビジネス市場の創出と活性化に貢献してまいります。

(参考：気象庁ホームページ)

◇「気象ビジネス推進コンソーシアム」の会員公募について（2017年2月1日報道発表）

http://www.jma.go.jp/jma/press/1702/01a/consortium_press.html

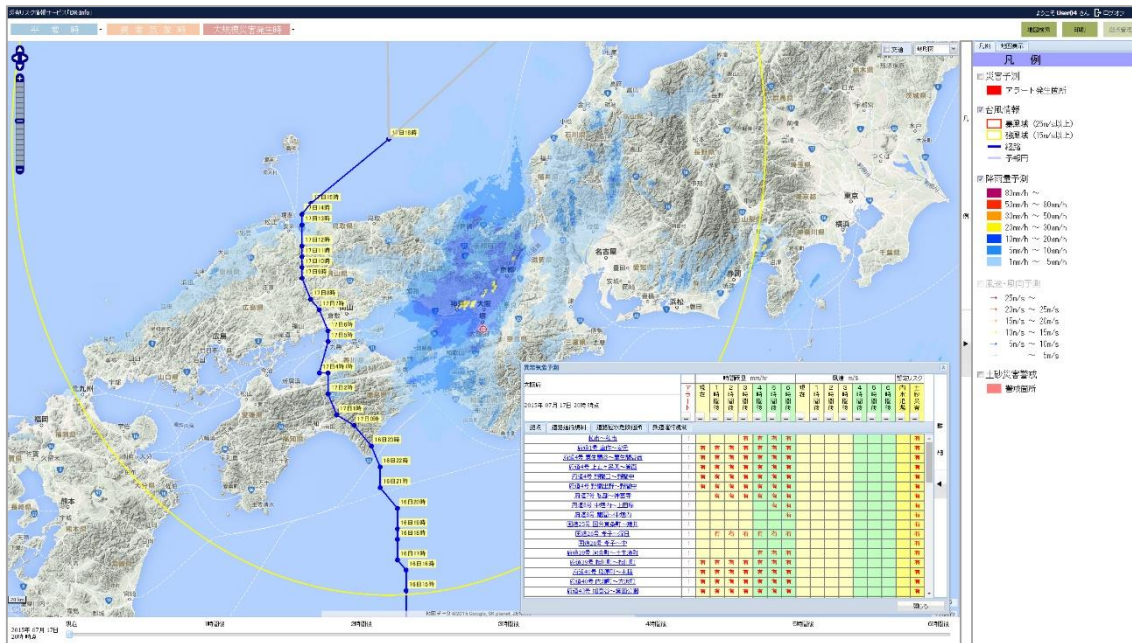
◇「気象ビジネス推進コンソーシアム」の紹介ページ

<http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/index.html>

【災害リスク情報サービス : DR-Info について】

気象庁から提供される雨量や風速などの予測情報と、道路・鉄道などの規制条件を総合的に評価し、6時間先までの被害予測をプッシュ型で通知するサービスを軸に、自然災害のリスク評価や大規模災害発生時の被害状況提供などを行うサービスです。

<http://www.pasco.co.jp/products/drinfo/>



■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ 広報部 TEL : 03-3715-1048